



2021年上期 JICA海外協力隊



帰国報告会

6月26日(土) 13:00 ~ 16:30
6月27日(日) 13:00 ~ 16:30

発表者	派遣国	職種	活動概要
6月26日(土) 13:00~13:10			
開会挨拶			
6月26日(土) 13:10~14:40			
まつむら いげみつ 松村 繁満 <small>(JICA海外協力隊)</small>	ブラジル	品質管理・ 生産性向上	活動先に新規に「QCサークル活動」を導入。最初に職員へのカイゼン活動に係わる講座とワークショップを開きカイゼン手法の訓練を行いました。その後職員全員で61チームのサークルチームを結成してもらいカイゼン活動を行い職員を指導しました。
はぎのや みな 萩野谷 美奈 <small>(青年海外協力隊)</small>	ザンビア	コミュニティ 開発	ザンビアの首都からバスで7時間ほど離れた町のヘルスセンターで地域保健活動を行いました。中でも5歳未満児の栄養状態のモニタリングや低体重児とその養育者の支援に注力しました。
まつお ゆうき 松尾 祐希 <small>(青年海外協力隊)</small>	セネガル	助産師	村に出向きハイリスク妊婦や、栄養失調児の自宅を訪問し生活をモニタリングして保健指導を行い、村での栄養失調児のスクリーニングや、村の保健員の手伝いを得て、様々な啓発活動の実施や、学校での衛生教育の授業などを行いました。
6月26日(土) 14:50~15:50			
いすみ あさ 泉 安佐 <small>(JICA海外協力隊)</small>	ベトナム	日本語教育	ハノイの国家大学にて日本語教育に携わりました。主な活動は①シラバスマニュアル作成②教授法指導③学生への直接指導等です。コロナ禍で派遣1年目にして一時帰国(昨年三月末)となり、今年1月で任期終了となりました。帰国後の1年間は、日本からオンラインでベトナムの学生に授業を継続しました。
たかつか まさし 高塚 正史 <small>(JICA海外協力隊)</small>	コロンビア	養殖	高等職業訓練校ガイラ支部にて固有種で淡水魚ボカチコ種苗生産技術開発支援を行いました。①人口配合飼料による給餌方法の開発 ②種苗生産歩留まりを30%以下から70%以上に改善③ふ化後仔魚の食生態変換を明らかにしました。
6月26日(土) 15:50~16:30			
講評/閉会挨拶 懇親会			

会場：JICA東京4階セミナールーム411

リモート参加（Zoom使用）を併用

会費：無料(どなたでも自由に参加できます)

※事前申込が必要です(参加申込手順裏面参照)※

会場参加は両日ともそれぞれ定員になるまで先着順
ソーシャルディスタンス確保のため、会場の定員が厳しく制限されております。定員を超えた場合にはネット接続によるリモート参加をお願い致します。

参加申込締切 6月25日(金) 17:00

※リモート参加につきましても、接続手続きの都合上、上記日時までの事前申込をお願いします。

※ご参加の皆様には終了後アンケートフォームへの回答の協力をお願いします。





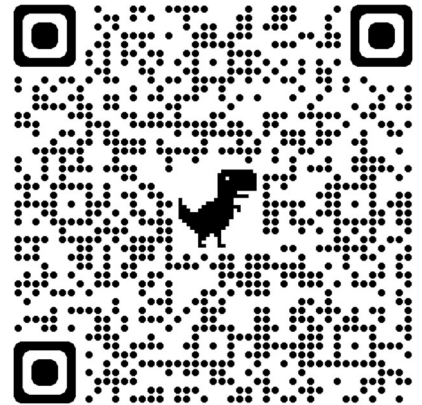
2021年上期 JICA海外協力隊 帰国報告会
6月26日(土) / 27日(日) 13:00 ~ 16:30
JICA東京4階/セミナールーム411 + リモート参加



発表者	派遣国	職種	活動概要
6月27日(日) 13:00~13:10			
開会挨拶			
6月27日(日) 13:10~14:40			
おがわら まさる 小鹿原 賢 (シニア海外協力隊)	アルゼンチン	剣道	日本の伝統文化である武道・剣道の技能の習得や相手への礼を重んじる精神(心)の修養を目的とした指導を通して、配属先であるブエノスアイレス日亜学院の子どもや大人たち、またアルゼンチン剣道連盟に所属する約300名の剣士達と「交剣知愛」で共に汗を流しました。
まるた みほ 丸田 美穂 (青年海外協力隊)	パラグアイ	看護師	プライマリーヘルスケア推進のための施設である家族健康ユニットにて、看護師として活動を行いました。地域住民への健康教育ワークショップや小中学校における保健衛生教育などを中心に活動しました。
おく あやの 奥 彩乃 (青年海外協力隊)	キルギス	日本語教育	首都の国立大学に配属され、日本語を教えていました。配属先以外の高校や小学校でも活動しました。現地の日本語教師会に参加しており、現地の日本語教師とともに弁論大会等のイベントを開催しました。
6月27日(日) 14:50~15:50			
くぼた りょう 久保田 凌 (青年海外協力隊)	モンゴル	理学療法士	モンゴルの首都にある私立病院で1年弱理学療法士をしました。途中、コロナウィルスが発生し緊急帰国しています。帰国後は海外人材が不足した農家のお手伝い、地域おこし活動、神奈川県への訪問リハビリテーションを行なっています。
くわこ ゆうじ 桑子 由紫 (青年海外協力隊)	ブラジル	日本語教育	ブラジルは中西部、南マットグロッソ州のナヴィライ日伯体育文化協会へ派遣されました。現地では①日本語の授業②日本文化活動③卓球の指導の3つを主に行っていました。
6月27日(日) 15:50~16:30			
講評/閉会挨拶 懇親会			

※発表時間は、お一人30分(報告25分、質疑5分)です。

※参加申込手順※ (締切 6月25日(金)17:00)
参加希望者は締切までに次のURLまたはQRコードから申込サイトへ
接続し、必要項目を入力のうえ送信してください。
<https://forms.gle/QfQQ3Ui7b3rRatbm6>



※実会場での参加の皆様へのお願い※

- ①マスクの着用と入館時の検温への協力
- ②限られた定員の有効活用のため、参加できなくなった場合にはその旨メール<info@jicasvob.com>にて連絡ください。
- ③JICA東京ビル内のレストランは報告会開催日が定休日となりますのでご注意ください。

※ネット接続によるリモート参加の皆様へのお願い※

- ①Zoomアプリのインストール
<https://zoom.us/download>
PCからでもスマートフォンからでも参加可能です。6月26日と27日ともに報告会開始前に、お送りいただいたメールアドレス宛に招待メールを差し上げます。接続する上での問題、その後の画面表示、音声出力に問題がありましたらメール<info@jicasvob.com>にてお問い合わせください。
- ②途中で一旦退出された場合およびネットワーク等の問題によりセッションが切れた場合には、当日の報告会開始前に届いた招待メールに従って再度接続してください。
- ③Zoom画面への表示名につきましては、申込時に入力した氏名を表示するよう設定をお願いします。

主催：NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会 ⇒ <https://jicasvob.com/>

共催：JICA東京 ⇒ <https://www.jica.go.jp/tokyo/>

担当：松田信治 (090-9643-7156、matsu.shin@pep.ne.jp)